

RSウイルスに 注意しましょう!!



RSウイルスは、冬期に流行する呼吸器感染症の代表的なウイルスで、子どもが感染すると、鼻水、咳、発熱などの症状がでます。多くは2日から1週間ほどで治癒します。

しかし、**新生児がRSウイルスに感染すると、重症の急性細気管支炎を起こし、呼吸困難に陥る可能性があります。**必ずしも発熱は伴いません。



赤ちゃんに対する RSウイルス・チェックリスト

- 赤ちゃんにお兄ちゃん・お姉ちゃんがいる
- 赤ちゃんのお兄ちゃん・お姉ちゃんが、ゴホゴホと咳をしていたり、鼻水がズルズル出ている
- 赤ちゃんが、急に元気がなくなり、お乳を飲まなくなった
- 昨日まで元気に泣いていた赤ちゃんが、じっと動かずに寝てばかりいる

上記の項目に3つ以上該当する場合は、RSウイルス感染症の可能性がります。はやめに小児科医の診察を受けてください。



徳島県では、RSウイルス感染症による乳児の死亡を減少させるため、県民の方々への普及啓発を推進しています。

徳島県・徳島県周産期医療協議会